

天上山(神津島) 2012年5月18~20日

リーダー:伊藤 松雄



▲天上山頂上にて

憧れの天上山

アクシデントから半年ぶりの山行少し不安でしたが、皆様にご迷惑をかけてしまいましたが本当に行けて良かった。3年前位にラジオである方が、一番の絶景の山は天上山と聞いていて～去年会長が連れて行って下さると知り絶対行きたい思いが叶えられました。これも会長始め皆様の思いやりと暖かい眼差しがうれしかったです。お蔭様であの素晴らしい絶景を見ることができ本当にありがとう御座いました。わがままのお蔭で足も痛むことなく順調です。ご安心下さい。私の三大印象深い思い出の山に→富士山 白馬 天上山になりました。会長感謝しております。今後迷惑かけないように筋肉をつけようと努力しますので宜しくお願いします。《西川 成子》



▲神津島に到着



▲表砂漠に行く (19日 13:38)



▲登り途中 前浜港を望む (19日 12:18)▲

「神津島／天上山」に参加して 戸邊茂雄

今回の行き先は、東京から南に約180kmの伊豆諸島の中間に位置する神津島です。神々によって伊豆の島々が造られたあと、この島は神々の会議場となり「神津島」と名付けられたと伝えられています。神津島の中央に位置する標高572mの山が今回登る「天上山」です。天上山は神津島のシンボルであり、黒潮に浮かぶ展望台とも呼ばれております。5月18日、我々一行は竹芝桟橋に集合し、22時に「かめりあ丸」で出発しました。甲板で1時半まで宴会をした後、2等船室の椅子席で寝ましたが熟睡はできず、朝になってから寝袋を持って甲板に行き、寝ましたが今度は2日酔いに船の揺れが加わって気分が悪く、寝不足のまま10時に神津島に到着しました。送迎の車で宿泊先の民宿「いそや」に行き、登山の支度をしてその車で天上山の黒島登山口まで送ってもらいました。登山口の標高が約200mです。11時30分に登山を開始しました。黒島山頂10合目までは背丈の低い灌木の中をジグザグに登ってゆきました。登るにつれて後ろを振り向くと海が広く見え、島の形も見えてきます。登山道はよく整備されていて、周りにはマルバシャリンバイの白い花、オオシマトツジの赤い花が目立ちました。黒島山頂10合目付近で昼食をとり、天上山の頂上台地を歩きましたが、標識とガイド地図を見ないとどこを歩いているのか分かりません。岩山や砂地が多く、千代池、ババア池、不動池などの池もあるのですが水は涸れておりました。表砂漠、裏砂漠、天空の丘など一通り歩き回ってから白島登山口に向かって下山しました。そこから更に民宿まで歩いて到着したのは5時、正味5時間ほど歩いたので足は結構疲れました。その後は村営の温泉保養センターに行って疲れを癒しました。温泉の帰りに民宿近くの酒屋に立ち寄りビール、酒を買って宿で夕食です。料理の主役は金目鯛でした。翌朝は朝食前に島内散策を行いました。濤響寺、流人墓地などを見て回り、防波堤で釣りまでしました。8時に朝食、朝釣ったムロアジの刺身も食べました。勿論朝からビールです。この後、お土産に塩辛を買って10時30分、来た時と同じ「かめりあ丸」で神津島を後にしました。民宿のおかみさんがテープ

を持って見送ってくれました。そして20時までの長い船旅がまた始まりました。それはまた長い宴会の始まりでもありました。無事に船は竹芝桟橋に着き、電車に乗ってせんげん台まで帰り、今回はいつもの中華食堂でひとり反省会をしました。家に着いたら22時を少し過ぎておりました。今回はバスでなく船で行く山行、貴重な体験でした。はるばる神津島まで行った甲斐がありました。伊藤リーダーはじめ皆様ありがとうございました。

鶯の 鳴き声多し 神津島
鶯の 声で目覚める 島の朝
背の低い ツツジばかりの 天上山
切り立った 岩のまにまに ツツジ咲く
シマトツジ 砂地に這って 咲いており
山頂の 砂地に咲きし スミレかな

▼天上山 裏砂漠付近



▼赤崎遊歩道にて



神津島天上山

の山旅では大変お疲れ様でした。
戸邊さんのブログ上での感想分に素晴らしい文面で総括されておりますので、私は割愛させていただきます。

幾つか今回のように宿泊する山行の中で今後に生かして頂けたら?と
気になった点について勇気をもって投稿いたしました。

1つ 参加人数が20名と多かった事からリーダーを含め準備する方を
複数にし女性を含めて欲しい。色々な手配の分担、再確認、
現地での調達等。

2つ 参加者は事前に仲間にも掲示板で知らせて欲しい。当日の出
発迄の集合時間に來られるメンバー把握の参考になる。

3つ 各自の持ち味を生かした趣味等を限られた時間の中で行えたこ
とはとても良かった<リーダーの御配慮か?>、しかし丘釣りしか
経験のない僕も、釣りの手配と時間がもてることは前もって知りた
かった。

4つ 島国に折角行ったのに民宿の海の幸がさみしかった。呑兵衛の
我儘か?残念。

こんな大変な事を一人でこなし伊藤リーダー大変お疲れ様でした。

甲板で宴会が始まり最後の締めも甲板で打ち上げとは・・・

よく歩き、深夜まで交流を深め、船酔い前に自分を酔わす、こんな人
生ここにしかない。人生に乾杯。《クリオネ》



▲19日民宿「いそや」の夕食



▲ 神津島の神話をテーマにしたオブジェ

◀ 神津島前浜に到着。天上山を望む (19日 10:11)

▼民宿いそや前にて (20日 9:27)





▲船上でスケッチを楽しむ村田画伯



▲ みごとムロアジをゲット (20日7:12)

▲ この日の釣果



▲神津島出航 (20日10:35)



▲裏砂漠展望地付近 (19日15:12)

2012年7月山行案内 槍ヶ岳 3180m

槍ヶ岳は、飛騨山脈(北アルプス)南部にある標高3,180mの山である。山域は中部山岳国立公園に指定されており、日本で5番目に高い山である。長野県松本市・大町市・岐阜県高山市の境界にある。初登攀は中田又重郎と修行僧の播隆上人。日本百名山、新日本百名山及び花の百名山に選定されている。(ウキペディアより)

リーダー：伊藤 松雄

7月14日(土) せんげん台6時05分発→春日部6時12分着・春日部6時16分発(大宮寄り1番前車両に乘车)大宮6時37分着・6時50分発新幹線・あさま501号乗車→長野8時05分着…長野駅東口8時15分発上高地直通バス乗車→上高地11時到着。交通費はせんげん台駅からは9440円になります。この往路はあくまで予定です。特にバスの乗車券を確保出来るかは申し込み順になりますから保証はありません。6月17日の山行ではっきりとしたコースを説明いたします。3千メートルの山です。今まで同様リーダーの判断、指示にご協力いただくことをお願いします。

申し込み締切り：6月10日(伊藤松雄まで048-763-4470)



5月27日現在参加者 = 伊藤松・佐藤き・豊島・藤井・市川・伊藤ユ・北山・久保谷・鳴原・品川・戸邊・松沢さん。